

ふれあい通信

2025

1・2月
合併号



Index

P2

特集1

個性を尊重できる職場を目指そう！
障害のある方と、共に働く

P6

特集2

就労移行支援事業所 たまフレ！
～高い定着率を目指して～

P9

ケアマネ気づきのチカラ ごみが捨てられない

第6回 地域医療連携のご紹介／医療法人社団 総生会 麻生総合病院

P10

たまふれNEWS 第5回 多職種連携感謝セミナー 土田 和歌子氏登壇／農園野菜でとん汁を作ろう！

P12

スタッフ紹介 たまレポ！ 「たまフレ！」 就労支援 齋藤 由加さん

個性を尊重できる職場を目指そう！

特集1

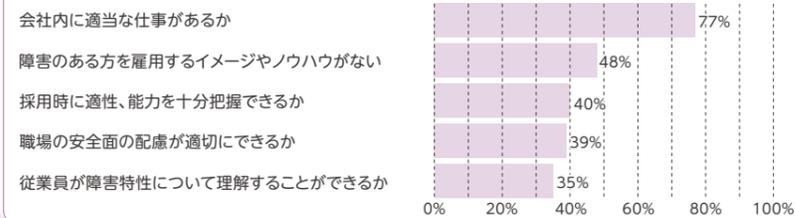
障害のある方と、共に働く



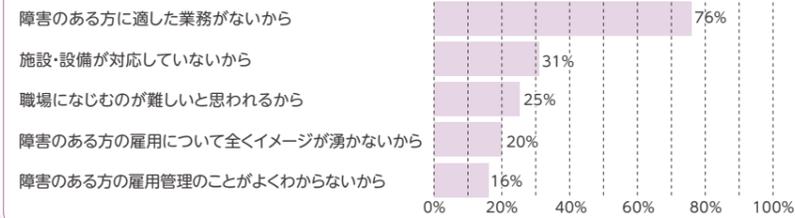
障害のある方を雇用する事業所は増えている一方で、雇用へのハードルを高く感じ、雇用することに消極的な事業所も少なくありません。一緒に働くことへの壁を感じる理由とは何か、課題解決のヒントを探ります。

雇用側のハードルとは？

● 雇用側が考える課題



● 雇用を控える理由



厚生労働省 令和5年度障害者雇用実態調査結果報告書 令和5年6月調査 資料より参照

調査結果から、雇用する上でのハードルは3つの課題に集約されます。

- 1 「適切な仕事は何か」が分からない
- 2 業務への適性や能力の把握、障害への理解や配慮に不安
- 3 雇用のイメージやノウハウがない

令和5年度障害者雇用実態調査結果報告書※(厚生労働省 職業安定局障害者雇用対策課)から考察します。障害のある方を雇用する上で、事業所が考える課題と障害のある方の雇用を控える理由の上位5つ(複数回答)は左図のとおりです。
※調査は常用労働者5人以上を雇用している民営事業所から無作為に抽出した約9400事業所を対象。回答事業所数は6406事業所

障害のある方と実際に働く企業

障害のある方の雇用実績をお持ちの聖マリアンナ医科大学病院の「就労支援室」にお話を伺いました。



聖マリアンナ医科大学病院
人事部 人事課
障害者職業生活相談員
Uさん

～就労支援室のご紹介～

15年以上障害のある方と共に働くことを続けられている就労支援室。2024年10月現在で就労員数は64名と大勢の方が勤務しています。

お互いを補い合う存在

採用にあたって大切にしているのは、「どこでもいいから働きたい」ではなく「ここで働きたい」という意欲があること、働く目的を持っていること、一緒にいる仲間を大切にできることです。支援室のスタッフはさまざまな障害から、できることとできないことがあります。その中で、同じ職場で働くスタッフや職員が互いに思いやり、尊重し合うことで、みんなで「でこぼこ」を補い合うことを大切にしています。

さまざまな個性を持つ人々と協働するヒント

定メンバーだけではなく異なるチームとも働く機会を設けることが配慮につながります。これは「環境調整」や「合理的配慮(※②参照)」と呼ばれるものです。

就労移行支援事業所のご利用者であれば、支援員が面接同行にて配慮の仕方を伝える他、就職後もアドバイスとすり合わせを行います(詳細は③参照)。こうした情報共有やサポートを踏まえ、職場でどこまで環境調整や合理的配慮ができるかを考えます。その上で採用可否かを考えることが大切です。

口頭での指示が難しい方に「写真付きのマニュアルを用意する」「疲れやすい方には休憩を取るよう声をかける」などを指します。

一方で、車いす利用者のために、オフィスを全面改修するような負担が大きい配慮は求めているということでした。

メントしています。また訓練を通してできることを増やし、自分から仕事をする上での困りごと、配慮事項を伝えられるようにしています。たまフレ!では、面接時にご本人が作成した障害特性や困りごと、必要な配慮などが記載された「就労パスポート」を企業様にお渡ししています。

大切なのは、一緒に働く同僚として受け入れ、お互いのできることを補いながら業務を進めていくマインドです。

3つの課題を解決するヒントを、障害のある方の就労移行支援※を行うたまフレ!支援員に話を聞きました。

※就労移行支援…一般就労を希望する障害のある65歳未満の方を対象に、事業所への通所を通じて知識や能力の向上を図り、実習や職場探しなどを支援するサービス

「ありがとう」が働く意欲に

支援室の仕事は、病棟内ということもあり、看護師、スタッフ、職員から直接「ありがとう」と感謝される機会も多いです。こうした経験を通じて、会社や患者さんのために頑張りたいというモチベーションが自然と高まります。そのことが、当院の「患者さんファースト」で仕事をすることにつながると考えています。

「みんな一緒!」の意識で

就労を通じて「自分の人生を自分で決める力」、つまり自己判断や自己決定を支えることで、自立への一歩を後押ししたいと考えています。支援室のスタッフは、これまで学校や家族の中で守られてきた環境から、初めて社会のルールに合わせて生きる階段を上っています。支援の方法や成長のスピードは人それぞれ異なりますが、一人ひとりが自分の力で立ち上がり、努力を重ねて成長していく姿を見ると、本当に応援したくなります。

私たち自身も社会で大人になる過程でこうした経験をしてきたのではないのでしょうか。障害の有無にかかわらず、みんな同じ道を歩んでおり、仕事上で大切にしたい価値観も同じだと思っています。

① 障害のある方に仕事をお任せするとき、どのように配慮したら良いでしょうか。



その方が働きやすいように「配慮」する考え方が重要です。

知的・精神・身体障害の種類によって、できる仕事・できない仕事はもちろんあります。

例えば精神障害があり、疲れやすく他人の態度を過度に気にする方であった場合、業務が滞らないように休憩を促す、固

② 「合理的配慮」とは具体的にどのようなものですか？



働く方の特性に応じて、無理のない範囲で働きやすい環境を整えることです。

③ 障害のある方の適性や特性を理解するために、やはり専門的な知識は必要でしょうか。



理解するために知識を得ることが大事なのではなく、共に働く仲間として受け入れる姿勢が大切です。

就労移行支援事業所では、何が得意か、どういった仕事ができるかを詳しくアセス

たまフレ!での 就労移行支援から一般就労への道

一般企業で働く障害のある方のうち「就労移行支援」を利用して就職する方は、就労支援の福祉サービスを利用しての方全体の約6割※です。たまフレ!の就労移行支援を通して、一般就労を実現したお2人の就職に至るまでの経緯や、現在の職場での様子をお聞きました。

※厚生労働省「障害福祉サービスからの就職者について」資料より



Kさん



同僚のSさん



を支援員さんに相談したり「就労パスポート」に自分ができることや職場で配慮いただきたい点をまとめました。また、パソコン操作が苦手だったため、支援員さんが基本的な操作を分かりやすくまとめたマニュアルを作成してください、それが今でも大いに役立っています。

入職してから約3カ月ですが、今どんなことを感じていますか?

Kさん たまフレ!の就労移行支援で過ごしてきたペースのまま働けているので、一度も体調を崩さず、無理なくお仕事をさせていただいています。また、相談しやすく働きやすい職場環境なので、とても幸せに感じています!

就職してからこれまでのKさんのお仕事ぶりを見てどのように感じていますか?

Sさん 丁寧な仕事ぶりや細やかな気配りで一つひとつを克服されています。Kさんと接する中で、その前向きで真摯な姿勢にはいつも感心させられます。また、たまフレ!のバックアップ体制のおかげで、私自身が当初感じていた不安も次第に解消されていきました。同じ職場で働く同僚として、互いに協力し合いながら日々業務に取り組んでいることをとてもうれしく感じています。

Kさん 週3回の通所では、eラーニングを毎日使ってビジネスマナーを学び「ナビゲーションブック」を使いながら自己理解を深めました。体調面で困ったときに周囲に相談するのが苦手でしたが、支援員さんが気軽に話せる雰囲気を作ってください、安心して相談できました。また、困りごとに対して一緒に解決策を考えてくださったので、とても心強かったです。

たまふれあいグループに入職するまで、どのような就職活動を行いましたか?

Kさん 入職の約8カ月前に職場見学を行い、その後、週2回の実習を3カ月間続けました。実習期間中、週1回の通所では業務内容を学びながら、不安な点

仕事でうれしかったことはありますか?

Tさん 看護師さんが名前を覚えてくれて「いつもありがとう」と言ってくれたことがうれしかったです。

職場はどんな雰囲気ですか?

Tさん 焦ってしまうときもあるのですが「焦らずゆっくりやってみよう」と声をかけてもらえます。やさしい人が多くて、安心して働ける場所です。

仕事面で変わったことはありますか?

Tさん 最初は、先輩ほどの程度聞いて良いか分からなかったのですが、今は不安なことがあれば気軽に相談できるようになりました。

生活面ではどんな変化がありましたか?

Tさん 働き始めたころは帰宅後に寝てばかりでした。でも最近は本を読むなど、自分の時間を持つように意識しています。20歳になったこともあって、変わってきた気がします。

CASE 01 たまふれあいグループ在宅事業部在宅事務課に入職したKさん

就職までの経緯



業務内容

書類をスキャンしてデータをパソコンに取り込みフォルダに格納し、その後、書類を整理してファイリングする業務を担当

CASE 02 聖マリアナ医科大学病院就労支援室に就職されたTさん

就職までの経緯



業務内容

薬剤カートで薬を病室に届けたり、布団カバーをかけたりする作業、小児病棟の遊び場(プレールーム)の掃除などを担当

たまフレ!支援員

Mさん

Tさん

聖マリアナ医科大学病院

人事部Hさん

人事部Uさん

Tさんに聖マリアナ医科大学病院(以下、聖マリ)を紹介した理由を教えてください。

支援員Mさん Tさんは過集中で疲れやすく、時間ごとに区切られた作業を履

就職までの流れを教えてください。

支援員Mさん 何度か聖マリさんを訪問して、業務内容や職場の雰囲気を確認しました。Tさんに合っていると感じ、一緒に見学にも行ったところ、Tさん自身も良い印象を持ったので、5日間のフルタイム実習を経て、面接を受け就職が決まりました。

数行う業務が向いていると思いき、こうしたシフト体制で業務を組み立てられている聖マリさんをお勧めしました。



薬剤カートで薬を病棟へ運搬中

布団カバーをかける作業

たまフレ!就労移行支援と就労定着支援の特長

たまフレ!は高い定着率を目指し、就職前の移行支援では、アセスメントを通してご利用者を深く理解することを重視しています。そして、就職に向けた課題をご利用者と一緒に考え、医療機関やご家族と連携しながら、必要な訓練を実施しています。



医療機関・ご家族との連携

ご利用者が通院している医療機関と積極的にコンタクトを取り、障害への理解を深め、薬の調整の相談なども行います。

また、ご利用者の自立に向けて保護者と良好な関係を築けるように、保護者との3者面談の機会を定期的に設けています。

自己理解を深め、自分を表現する力を向上

ご利用者が自分の特性を人に説明できるようにすることが最終目標です。自分が得意なこと、苦手なことを紙に書き出し、月1回の振り返りを通して、書いたときから変化した自分を見つめ直し、自己理解を深めていきます。

GOAL

自立と自信

自分らしい生活
社会人としての自覚

企業との高いマッチング

訓練を通して、特性、得意不得意をアセスメントし、職場の雰囲気や作業内容がご利用者にマッチしているかをしっかりとリサーチした上で紹介し、さらに、見学と実習を経て就職先を決めていきます。

就職後の定着のための定期面談と課題解決

就労定着支援期間の最大3年間をフルに使い、月に1回の定期面談を必ず実施しています。

たまフレ!では不定期、形式的な面談ではなく、課題解決のためにしっかりと時間を取って、丁寧な面談を行っています。

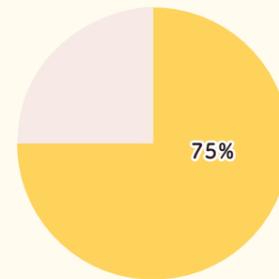
高い専門性を持つスタッフが丁寧で質の高い支援を行うことで、ご利用者に最も適した企業をご紹介します。さらに、就職後に新たに課題が生じた場合についても、ご利用者と共に解決できるよう、手厚いサポートを提供しています。

たまフレ!ご利用者の定着率は75%

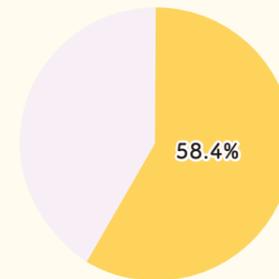
障害のある方は、長期的に仕事を続けることが難しいケースが多く、定着率の向上が課題とされています。就労移行支援事業所たまフレ!のご利用者で就職した方の1年後の定着率は75%です。これは全国調査での一般企業に勤める障害のある方の就職後1年の定着率よりも高い数値です。

たまフレ!ご利用者の障害の種類は、知的障害の方が半数です。全国調査から、知的障害の方は就労割合が少ないことが分かります。たまフレ!は障害の種類に関係なく、就職および定着を実現させています。

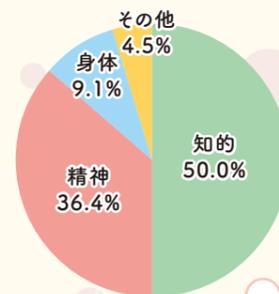
たまフレ!就労移行支援
ご利用者の就職後1年の定着率



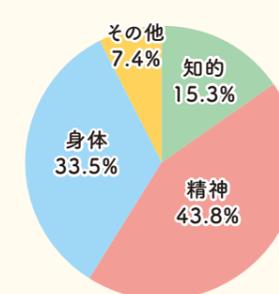
一般企業に勤める障害のある方の就職後1年の定着率



たまフレ!ご利用者
障害別の割合



全国調査対象者
障害別の割合



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター
「障害者の就業状況等に関する調査研究」より
(2015年実施 N=5,015人…一般企業に就職した障害のある方)
たまフレ!の生活訓練の特長



特集2

就労移行支援事業所
たまフレ!
高い定着率を目指して

たまフレ!のご利用者の多くが就職後も仕事を続けられている背景として、たまフレ!の一般企業への就労支援を主としたサービス「就労移行支援」「就労定着支援」の特長をご紹介します。

就労移行支援事業所 たまフレ!

住所 〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸2519-1 ヨシザワ10ビル4F
アクセス 小田急線 向ヶ丘遊園駅から徒歩3分 南武線・小田急線 登戸駅から徒歩5分
受付時間 9:00~18:00(土日祝日を除く)
お問い合わせ TEL:044-930-1177 FAX:044-930-1178



お問い合わせフォーム



たまフレ!HP



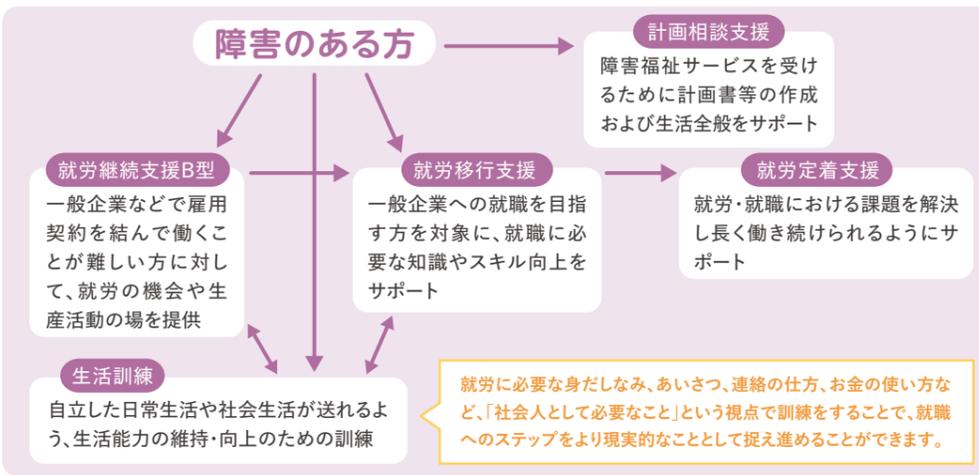
「みんなでカレーを作ってたまフレ!精米を食べよう!」



「ハロウィンイベント」カラオケ大会

たまフレ!では、毎週土曜日にさまざまなイベントを行っています。親から離れてのびのびと自分らしく、仲間と過ごす時間として、自立支援にもつながります。

土曜イベントで仲間と楽しんで過ごす



たまフレ!は5つのサービスを展開し、それらが連携することで、障害のある方への総合的かつ一人ひとりに合った支援を実現しています。

5つのサービスの紹介